



## 中学3年生は「ティッシュボックスカバー」を作製しました。

実習では、ミシンの使い方と日本の伝統的な刺しゅうである刺し子を学習しました。

今回使用している小幅布は、布端が「耳」になっているので、布端の始末が無く、とても簡単です。しかし、表にミシンの縫い目が出るので、縫い目の調節をしっかりして縫い始めましょう！



ミシンの使い方は、スライドを使って確認！次は、試し布を使って練習です。



こちらの青い布は試し布です。返し縫いや縫い目など試しています。



手順

①中表にして半分に折り、端から1.5cmのところを縫う。



ここから1.5cm

②縫いしろを割って表に返し、上下それぞれの端から1cmのところを縫う。



③ボタンを付け、反対側にループを付ける。



④刺し子をして完成！



## 授業の様子



ミシンを縫うところは、チャコペンで線を引きましょう！

上手に玉結びができましたか？



色を合わせて、きれいに刺し子が出来ましたね。

ボタン付けは、布の厚み分のすき間をあけましょう！



黙々と、刺し子をしている様子です。



刺し子針は、太くて長いので、布を刺すのが難しいですね。



手でしっかり押さえて縫いましょう！



上下の生地を合わせると、模様になっています。

2色使いの並縫いがきれいですね。

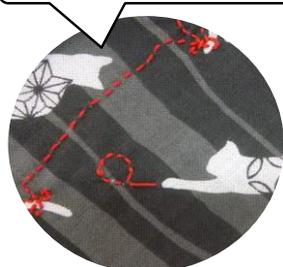


柄を使って、顔になっていますね。

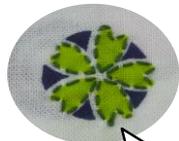
色鮮やかで、お花の柄も全部違いますね。



猫が毛糸の玉で遊んでいますね。



## 刺し子の作品



刺し子で縁取りがされていて、模様に乗りますね。

～お知らせ～

中学3年生の夏季宿題として、ポケットティッシュケースの製作があります。作り方は難しくありません。今回のティッシュボックスカバーの復習になりますので、作り方をよく見て取り組みましょう。



## 編集後記

今回の実習で、玉止めに苦戦している生徒が、最後の工程、ボタンのループの玉止めがきれいに仕上がっていたのを見た時や、「小学校ではミシンが出来なかったのに、ミシンが使えるようになって楽しかった。」と話しているのを聞いて、実習をしっかり取り組んでいると思いました。Yシャツのボタンが取れていた時など、自分でボタンを付けてみてください。実習で学んだことが、身に付いていると思いますよ！

2学期は、にんべんの「かつお節体験」や調理実習があります。

